

令和5年度（2023年度）

事業計画

学校法人 日本社会事業大学

目 次

第1 令和5年度事業計画の基本的考え方

(1) 本事業（年度）計画と中期計画	1
(2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み	1
(3) 目標設定の考え方とPDCA	1

第2 全学的な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応	2
(2) 志願者確保対策の強化	2
(3) 新教務システムの導入	2
(4) ITガバナンスの構築	2
(5) 国際協力の推進	2
(6) 学生支援の強化	3
(7) 危機管理体制の見直し	3
(8) 社会貢献の推進	3
(9) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化	3
(10) 広報体制の強化	3
(11) 内部質保証のための取り組み	4

第3 各組織における取り組み

(1) 学長室	4
(2) 社会福祉学部	4
(3) 研究大学院	5
(4) 専門職大学院	5
(5) 通信教育科	6
(6) 社会事業研究所	6
(7) 図書館	7
(8) 子ども学園	7
(9) 法人本部	7

(参 考)

1	設置の場所	9
2	学生の修業年限・規模等	9
3	授与する学位	10
4	教育組織図	10
5	主要事業実施日程	11
6	令和5年度入学者選抜の実施	12
7	令和4年度学長室組織概念図	14

第1 令和5年度事業計画の基本的考え方

(1) 本年度事業計画と中期計画

本年度事業計画は、昨年度より始まった第4期中期計画における2年目の目標と取り組みを定めるものである

(2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み

本年度事業計画では、中期計画に盛り込まれた内容を全学的に取り組むべき事項と組織ごとに取り組むべき事項に大別し、それぞれ本年度中に実現すべき目標と取り組みを定めている

(3) 目標設定の考え方とPDCA

上記の目標には、定性的な目標だけでなく、なるべく具体的な内容を盛り込むとともに、その実績は毎年度の事業報告で評価・公表し、次年度以降の事業計画に反映させることによって、中期計画におけるPDCA(Plan Do Check Action)サイクルを完成させることとしている

第2 全学的な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症が「第2類」から「第5類」へ改められる(予定)などの状況変化を踏まえ、授業形態を原則対面形式に戻すなど、教育・研究環境の同感染症蔓延前への早期回復を目指す

ただし、今後の不測な事態に備えるため、学内の「新型コロナウイルス感染症対策本部」は引き続き維持する

(2) 志願者確保対策の強化

昨年度より検討してきた総合型選抜方式の導入などの入試制度の改革を実施に移すほか、ホームページの刷新等を通じた受験生向け広報活動の強化に引き続き取り組むとともに、志願者確保に向けた新たな方策の検討を行う

(3) 新教務システムの導入

これまでの検討結果を踏まえ、必要な業者選定などを行ったうえで、具体的な新教務システムの検討を行い、来年度からの導入・稼働を目指す

(4) IT ガバナンスの構築

情報化の推進とともに、情報セキュリティを全学的に統治するために CIO (Chief Information Officer: 最高情報責任者) や CSIRT (Computer Security Incident Response Team : コンピューターに関するセキュリティ事故対応チーム) の設置などを含めた IT ガバナンスの構築を目指す

(5) 国際協力の推進

現在行っているインドネシア政府との交流事業、オーストラリアへのスタディーツアー、環太平洋社会福祉セミナーなどを通じて、東南アジアを中心とした海外の関連機関・大学との協力関係を一層拡大・強化する

その一環として、海外大学への留学制度や海外からの留学生に対する支援体制の整備に一層努める。

(6) 学生支援策の強化

本学で学ぶ学生、院生等が安心して修学を継続して行けるよう、学生、院生の悩みにより応えられる相談体制を整備するほか、障がいのある学生、院生等に対する情報保障の在り方について検討を進める

また、いわゆるラーニング・コモンズなどの教育環境の整備、学生寮の改善、学生食堂の再開支援などの生活環境の改善に努める

(7) 危機管理体制の見直し

新型コロナウイルスの勃発を含めた各種の想定外のリスクにも対応できるよう、現在の本学の危機管理体制の再点検と改善に向けた検討を行う

(8) 社会貢献の推進

引き続き地元清瀬市の行う関連事業へ積極的に参加していくほか、厚生労働省実施の各種国家試験へ試験委員を派遣するなど、積極的に社会の要請に応えていく

(9) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化

教育・研究の場や職場でコンプライアンスに反する行為やハラスメントが生じないよう、研修の強化などに一層努める

(10) 広報体制の強化

今年度より HP(ホームページ)を刷新するとともに、オープン・キャンパスをより充実したものにしていくほか、本学に関心のある高校生に対し重点的に広報を行うための WEB 媒体の充実、高校訪問先の拡大等を行う

(11) 内部質保証のための取り組み

昨年度行われた外部評価機関による大学認証評価の結果を踏まえ、所要の対応策を講じるほか、とくに内部質保証(大学の教育・研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、当該評価結果に基づく改善・向上を行う一連の取り組み)については実効性ある PDCA サイクルの実現に努める

第3 各組織における取り組み

(1) 学長室

- ① 社会福祉研修センターでは、国の制度改革の動向や受講生のニーズを踏まえ、引き続き研修内容やオンライン授業の見直し・充実に努めるほか、これまでの研修受講生のフォローアップに重点的に取り組む
- ② 未来ビジョン推進センターでは、リカレント教育推進のための体制整備事業、福祉キャリア支援センター事業等の具体的展開に引続き取り組む
- ③ 多心型福祉連携センターでは、本年予定の学内学会において、「災害・気候変動と福祉(仮)」をテーマとした講演会やパネルディスカッションを開催する
- ④ 自己点検・評価検討委員会においては、内部質保証関係規定に基づき所要の自己点検・評価を実施し、報告書のとりまとめを行う

(2) 社会福祉学部

- ① 学内に早急に特別委員会またはプロジェクトチームを設置し、現行の2学科体制、資格課程、カリキュラムなどの在り方について基本的な見直しを行う
- ② これ合わせて、教養科目、専門科目、資格課程関連科目について他大学との単位互換制度導入に向けた検討を行う
- ③ 社会福祉士等国家試験対策や公務員試験対策の強化に引き続き努める

(3) 研究大学院

- ① EBPM(Evidence Based Policy Making 証拠に基づく政策形成)に基づいた政策形成に資する大学院教育の在り方を検討するとともに、EBPM 力の向上のための質的・量的調査法・分析法の獲得に重点を置いたカリキュラム編成と福祉プログラム評価履修コースの拡充に努める
- ② オンラインシステムなどの活用を通じ、他大学との単位互換を拡大し、院生の多様なニーズに応えるとともに、本学専門職大学院との連携の強化を図る
- ③ 院生教育の一環として、本学学位取得者(修士・博士)による研究交流会やゼミにおける特別講義等を行う
- ④ 国際協力の推進及び入学者の安定的な確保の観点から、外国人留学生の入試方法について見直しを行うほか、学部卒業生や社会福祉実践者の入学者増大に努める

(4) 専門職大学院

- ① 同時双方向型オンライン授業を定着させ、働きながら学びやすい環境づくりを一層推進する(文京校舎の整備を含め)
- ② 新教務システム導入に合わせて多様なメディアの活用を推進する
- ③ リカレント講座の開講、福祉実践フォーラムの開催を引き続き行うとともに、本学専門職大学院の周知、入学者確保に努める
- ④ 引き続き、教員の派遣等を通じて学長室社会福祉研修センターとの連携に努める
- ⑤ 2024年度が本学専門職大学院創設の20周年にあたることから、これを記念して、地域共生社会実現におけるソーシャルワーク専門職の重要性を発信する企画を検討する

(5) 通信教育科

- ① 今後の社会のニーズに合わせ、既存の各養成課程の定員を見直す
- ② 学部・大学院との連携を維持し、本学独自の魅力ある通信教育システムを構築するとともに、引き続き所要のカリキュラムの見直しを行う
- ③ 各養成課程の定員確保のため、より効果的な広報活動や出願書類不備による不合格者発生防止などに一層努める
- ④ 在学生や修了者の他資格取得のための通信教育科への再入学や専門職大学院への進学を支援する

(6) 社会事業研究所

- ① 学内共同研究事業や国内外の研究交流活動を一層推進し、その成果を社大福祉フォーラム等で公表する
- ② 院生の研究活動を対象とした外部助成金(日本学術研振興会等による)の獲得を目指し、「学生研究活動補助金制度」への応募を支援する
- ③ 文部科学省や厚生労働省の科学研究費補助金、生活協同組合等民間団体からの補助金などの外部資金の獲得に努める
- ④ 公的研究費の不適正使用を防止するため、所定の管理・監査ガイドラインに基づき定期監査を実施するとともに、本学の研究倫理規定に基づき、コンプライアンスの遵守と研究倫理の向上に努める
- ⑤ 国際・アジア福祉研究教育センターを中心に、国際交流事業(環太平洋社会福祉セミナー、アジア諸国へのスタディーツアーなど)をさらに推進する

(7) 図書館

- ① 学生の自主的学習環境を整えるため、引き続き、自習室、グループ学習室、図書館ガイダンス等の整備を行うほか、図書貸出利用促進を図る。

また、卒業論文等のデジタル化等図書館の ICT 化を計画的に進める。

- ② 逐次刊行物(他機関の紀要等)の整理を引き続き進め、所蔵スペースを確保する

(8) 子ども学園

- ① 東京都の指定障害者福祉サービス事業として、質の高い福祉サービスを維持しながら、引き続き安定的な事業運営・財政運営に努める
- ② 合わせて本学園の実習施設・研究施設としての役割の強化に向けて所要の検討を行う

(9) 法人本部

①法人運営

- ・ 引き続き学内の「新型コロナウイルス感染症対策本部」は維持し、今後の不測な事態に備える
- ・ 法人業務全体を見直す中で、業務量の偏り等を改善し、ワークライフ・バランスのとれたより働きやすい職場環境づくりに努める
- ・ 職員の資質の向上を図るため、Web セミナーを活用するなど研修制度の一層の充実等に努める
- ・ 教育職員の人事管理に関連する諸課題(裁量労働制の採用等)の解決に向けた検討を行う
- ・ 年度広報計画を元に、オープン・キャンパスの充実、ホームページの刷新、新たな広報媒体の採用、高校訪問先の拡大等、広報体制を一

層強化する

②財政運営

- ・ 令和4年度に引き続き、令和5年度の入学者も減少する見通しとなり、大変厳しい財政状況になっていることから、入学者確保を念頭に入試改革、カリキュラム改革、学部・学科の再編等に引き続き取り組むとともに、公式ホームページのフルリニューアル、給与・人事・会計システム、教学システム、学生募集システム及び図書館システム等の見直しを通じて、業務の効率化、経費の削減に努める
- ・ とくに、今年度は光熱水費等の高騰により、大学運営に支障をきたすことが予想されることから、国に対し委託費積算の見直しを要望する
- ・ 厚生労働省経営委託費補助金等の拡充、文部科学省科学研究補助金の増額、卒業生等からの寄付金・遺贈収入の増額などを通じて、財政基盤の一層の強化に努める

③施設整備

- ・ 講堂棟外壁塗り直し工事等のほか、本学全体のICT化を見据えて、必要なネットワーク機器の更新を行う
- ・ 学生寮(松窓寮)のICT環境の整備など、学生の学習・生活環境改善に重点を置いた施設整備を引き続き行う
- ・ 教育・研究環境の向上を目指し、ラーニング・コモンズを新たに設けるための検討を早急に行い、その早期実現に努める
- ・ 現在、主に海外からの留学生用宿泊施設として利用されている「ゲストハウス」(花小金井)について、今後主に「国際交流会館(仮)」として活用する方向で早急に検討する

(参 考)

1 設置の場所

所在地	設置する学校等
東京都清瀬市竹丘三丁目1番30号	[清瀬キャンパス] 大学、大学院、通信教育科、社会事業研究所、附属図書館
東京都清瀬市梅園一丁目2番50号	附属実習施設子ども学園、寄宿舎（学生寮「松窓寮」）
東京都小平市花小金井四丁目39番10号	宿泊施設（招聘研究者用）
東京都文京区小石川五丁目10番12号	[文京キャンパス] 大学院（専門職）、各種講座

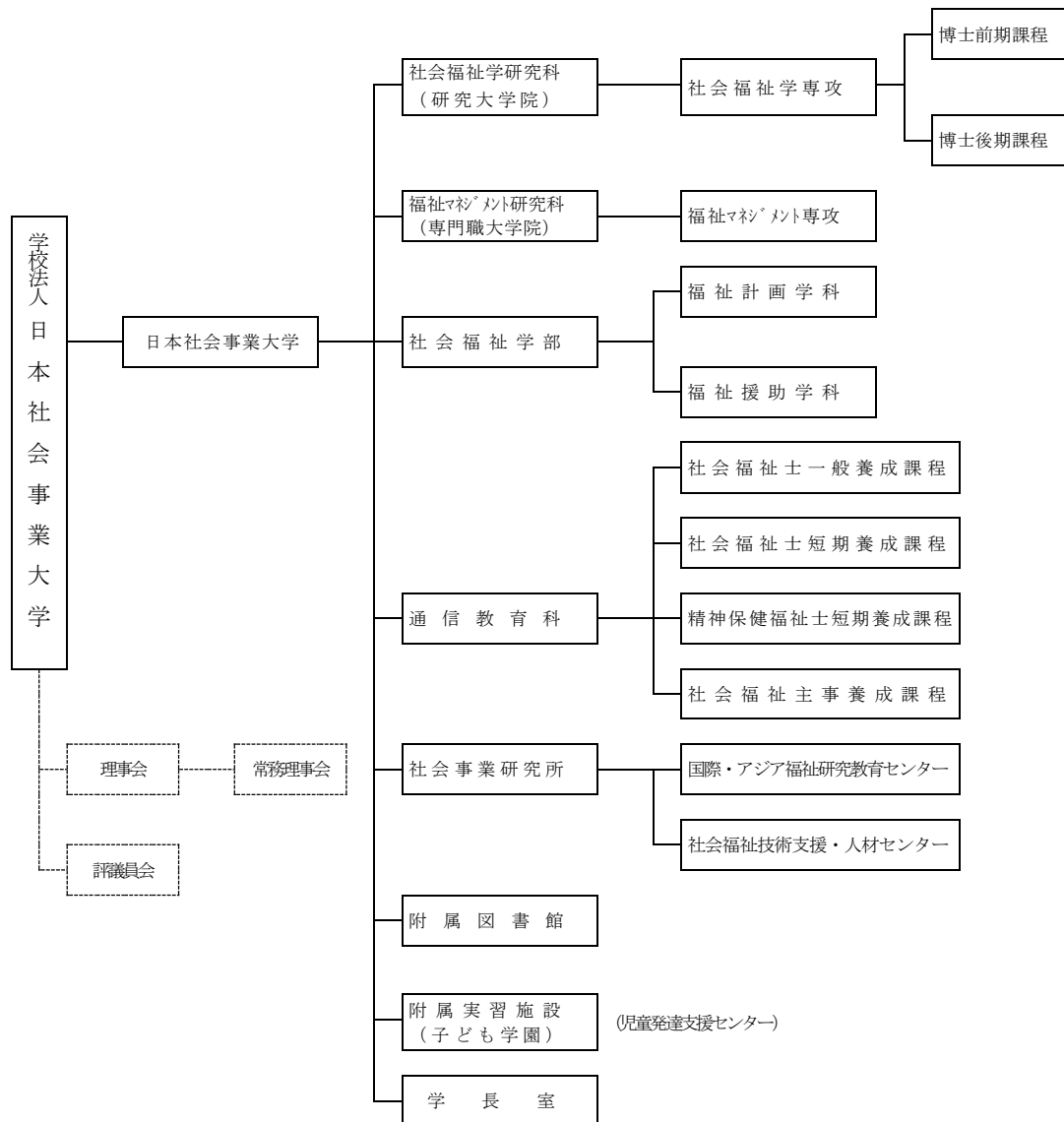
2 学生の修学年限・規模等

区分	学部・学科等		入学定員	修業年限	摘要	
大学	社会福祉学部	福祉計画学科	1年次入学	55人	4年	
			3年次編入学	10人	2年	
	福祉援助学科	1年次入学	105人	4年		
		3年次編入学	10人	2年		
大学院	福祉マネジメント 研究科 (専門職大学院)	専門職 学位課程	50人	1年	※長期履修生は2年	
		社会福祉学 研究科 (研究大学院)	博士前期課程	15人		2年
		博士後期課程	5人	3年		
計（通学制）			入学定員：250人（収容定員：775人）			
通信教育科	社会福祉士一般養成課程		360人	1年6ヶ月		
	社会福祉士短期養成課程		140人	9ヶ月		
	精神保健福祉士短期養成課程		150人	9ヶ月		
	社会福祉主事養成課程		500人	1年		
計（通信制）			入学定員：1,150人			

3 授与する学位

大学	社会福祉学部	学士（社会福祉学）	
大学院	福祉マネジメント研究科（専門職大学院）	福祉マネジメント修士（専門職）	
	社会福祉学研究科 （研究大学院）	博士前期課程	修士（社会福祉学）
		博士後期課程	博士（社会福祉学）

4 教育組織図



5 主要事業実施日程

日 程	事 業 事 項
令和5年 4月 5日 (水)	入学式 (学部・大学院)
(2023年) 4月 6日 (木)	子ども学園入園式
5月 11日 (木)	法人監査
5月 22日 (月)	評議員会、理事会 (事業報告・収支決算)
6月 24日 (土) ・ 25日 (日)	第61回社会福祉研究大会 (学内学会)
9月 28日 (木)	9月卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
10月 5日 (木)	総合型選抜 第1次選考
10月 7日 (土)	大学院博士前期課程第Ⅰ期入学試験
10月 12日 (木)	全学防災・避難訓練
10月 21日 (土)	総合型選抜 第2次選考
10月 28日 (土) 29日 (日)	大学祭
11月 4日 (土)	私費留学生選抜・3年次編入学選抜
11月 9日 (木)	創立記念日
11月 18日 (土)	学校推薦型選抜
12月 3日 (日)	専門職大学院第Ⅰ期入学試験
令和6年 1月 13日 (土) ・ 14日 (日)	大学入学共通テスト (会場：明治薬科大学)
(2024年) 1月 21日 (日)	専門職大学院第Ⅱ期入学試験
1月 28日 (日)	第36回介護福祉士国家試験
2月 1日 (木)	一般選抜 (前期日程)
2月 3日 (土)	第26回精神保健福祉士国家試験
2月 4日 (日)	第36回社会福祉士国家試験
2月 8日 (木)	大学院博士前期課程第Ⅱ期入学試験
2月 9日 (金)	大学院博士後期課程入学試験
2月 22日 (木)	一般選抜 (後期日程)
3月 2日 (土)	専門職大学院第Ⅲ期入学試験
3月 10日 (日)	専門職大学院第Ⅳ期入学試験
3月 15日 (金)	卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
3月 20日 (水)	子ども学園卒園式
3月 下旬	評議員会、理事会 (事業計画・収支予算)

6 令和6年度入学者選抜の実施

項目		募集人員		試験日	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
		福祉計画 学科	福祉援助 学科		自	至		自	至	
社会福祉学部	総合型選抜	9名	16名	10月5日(※) 10月21日(※)	9月15日(金)	9月29日(金)	10月13日(※) 11月1日(※)	11月2日(木)	11月10日(金)	
	私費留学生選抜	若干名		11月4日(土)	10月10日(火)	10月20日(金)	11月15日(水)	11月18日(木)	11月24日(金)	
	学校推薦型選抜	一般推薦	16名	34名	11月18日(土)	11月1日(水)	11月8日(水)	12月1日(金)	12月2日(土)	12月9日(金)
		福祉系高等学校推薦	2名	3名						
		特定地域高等学校推薦	2名	3名						
	一般選抜	前期日程	15名	30名	2月1日(木)	1月5日(金)	1月22日(月)	2月7日(水)	2月8日(木)	2月16日(金)
		後期日程	4名	6名	2月22日(木)	2月1日(木)	2月14日(水)	2月29日(木)	3月1日(金)	3月7日(木)
	大学入学共通テスト選抜	7名	13名	-	-	1月5日(金)	1月26日(金)	2月9日(金)	2月10日(土)	2月22日(木)
合計	55名	105名								

項目		募集人員	試験日	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
				自	至		自	至	
大学院	社会福祉学 研究科	15名	前期第Ⅰ期	10月7日(土)	9月11日(月)	9月22日(金)	10月18日(水)	10月19日(木)	10月27日(金)
			前期第Ⅱ期	2月8日(木)	12月20日(水)	1月12日(金)	2月21日(水)	2月22日(木)	3月1日(金)
			後期課程	2月9日(金)	12月20日(水)	1月12日(金)	2月21日(水)	2月22日(木)	3月1日(金)
専門職大学院	福祉マネジメント 研究科	50名	第Ⅰ期	12月3日(日)	11月6日(月)	11月17日(金)	12月13日(水)	12月14日(木)	12月22日(金)
			第Ⅱ期	1月21日(日)	12月18日(月)	1月5日(金)	1月31日(水)	2月1日(木)	2月9日(金)
			第Ⅲ期	3月2日(土)	2月5日(月)	2月16日(金)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月15日(金)
			第Ⅳ期	3月10日(日)	2月19日(月)	3月1日(金)	3月10日(日)	3月11日(月)	3月15日(金)

項目		募集人員	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
			自	至		自	至	
通信 教育 科	社会福祉士一般養成課程	第1期	360名	10月1日(日)	11月17日(金)	12月13日(水)	12月13日(水)	1月5日(金)
		第2期		11月20日(月)	1月29日(月)	2月19日(月)	2月19日(月)	3月1日(金)
		第3期		1月30日(火)	2月22日(木)	3月11日(月)	3月11日(月)	3月21日(木)
	社会福祉士短期養成課程	第1期	140名	10月1日(日)	11月17日(金)	12月13日(水)	12月13日(水)	1月5日(金)
		第2期		11月20日(月)	1月29日(月)	2月19日(月)	2月19日(月)	3月1日(金)
		第3期		1月30日(火)	2月22日(木)	3月11日(月)	3月11日(月)	3月21日(木)
	精神保健福祉士短期養成課程	第1期	150名	10月1日(日)	11月17日(金)	12月13日(水)	12月13日(水)	1月5日(金)
		第2期		11月20日(月)	1月29日(月)	2月19日(月)	2月19日(月)	3月1日(金)
		第3期		1月30日(火)	2月22日(木)	3月11日(月)	3月11日(月)	3月21日(木)
	社会福祉主事養成課程	第1期	500名	11月1日(水)	12月13日(水)	1月17日(水)	1月17日(水)	2月7日(水)
		第2期		12月15日(金)	1月29日(月)	2月19日(月)	2月19日(月)	3月1日(金)
		第3期		1月30日(火)	2月22日(木)	3月11日(月)	3月11日(月)	3月21日(木)

令和5年度学長室組織概念図

